

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名	イラプションII	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.460	△RG	0.040	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

**テストボール：イラプションII**

フレアーの幅  インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

PAPからピンとの距離  4 インチ

研磨剤

番

**比較対照ボール：イラプション**

フレアーの幅  インチ

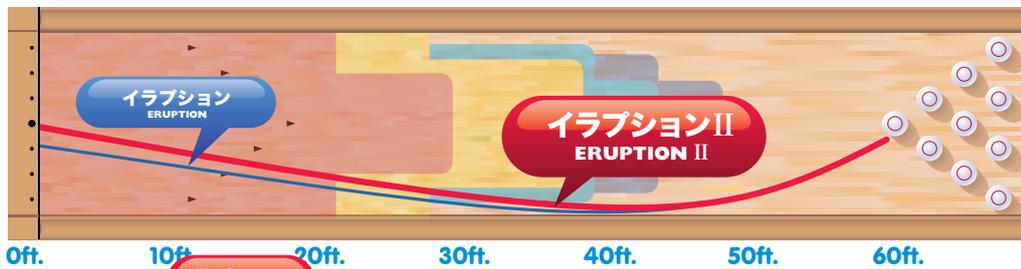
表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

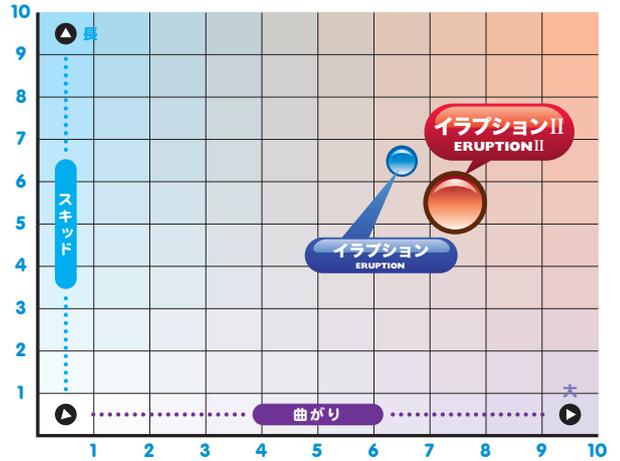
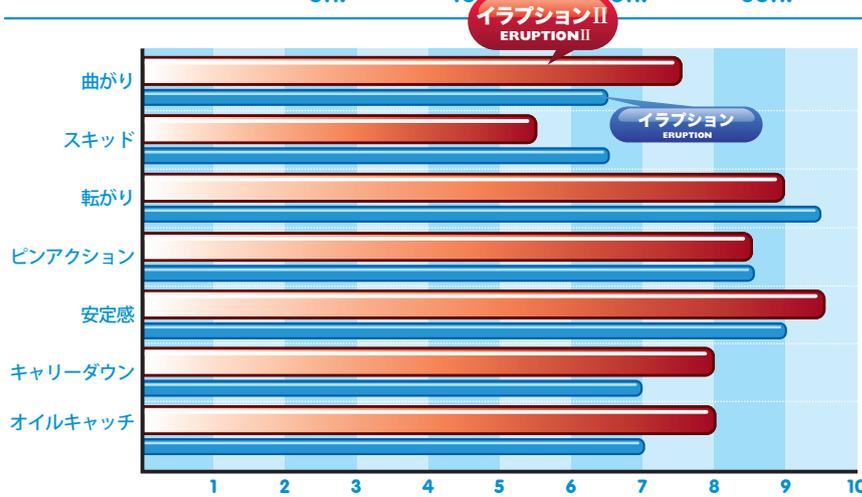
PAPからピンとの距離  4 インチ

研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



### ボールの評価

男女を問わず多くのボウラーに使用して頂いた、全ABSプロスタッフでもミディアムコンディション以下使用率No1ボールのコロムビア社イラプション。今回インターナショナル製品として仕上げたこのイラプション2は、イラプションより安定したグリップ感を求めた、「しなやかなリアクションの中にも持続的なグリップ感」を得られる、グリップ感とフリップ感双方を感じられるワンランク上のボールに仕上げました。

イラプションのカバーストック構成である”3カラーパール”(3つのパール素材の組み合わせ)をイラプション2では”3カラーソリッド”に構成変更し、転がり感を持続させることでやや手前からリアクションを起こさせ、扱い易さに磨きをかけて作成してあります。

このイラプション2のプロトタイプでテスト時に山本勲プロパーフェクトの報告を受けたのも、このイラプション2のトータルバランスの良さを物語っています。カバーの構成が変わったこともあり、曲り始めのイメージはミッドエリアから感じるのですが、キャッチを感じても減速しているイメージはなく、バックエンドでやや加速を思わせる強いフリップ状のリアクションへと変わるの初代イラプションと同じようなイメージを持たれることでしょう。またこのような曲りのイメージもさまざまな違うタイプのボウラーにほぼ共通した報告を受けたことも初代イラプションと同様の安定したライン取りも供給できるということ。イラプションという名機にさらなる息吹を吹き込むためにABS開発チームが考え抜いて抽出した拘りのカバーストック。このイラプション2もイラプション同様、トーナメントやリーグ・大会等で「軸」となるボールとしてきっと活躍することでしょう。

### 特記事項

**転がり続ける特性を活かしながら、しなやかに持続性のあるキャッチ感を+αさせました。安定感が増すことで、ワンランク上の性能として生まれ変わりました。**